

祭いだ ワッショイ!

9月15・16日に鳩森神社の例大祭がありました。病院、友の会はお休み所として東館のピロティを提供しおもてなしました。

鳩森神社例大祭 ピロティで歓迎

15日は朝から雨で心配されましたが、雨も上がり、わっしょい、わっしょいの掛け声が響き、子どもや親御さん60人が休憩所に集まりました。「病院の休憩所は最高です。そうめんがとても美味しく楽しみにしています」と付き添いのお母さん

んからうれしい言葉をかけていただきました。今年は3年に一度の本祭りということで、新宿高島屋に周辺の町会から8つのお神輿が集合し、明治通りから千駄ヶ谷大通り商店街を練り歩き、鳩森神社に到着しました。そこから各町会に分

かれ、町内会を練り歩いて代々木病院に到着しました。80人ほどの担ぎ手や子どもたちにもうめん梨、ビール・ジュースで労をねぎらいました。日向事務局長が挨拶、「代々木病院は今年で70周年を迎えます。地域の人々に支えられ、医療、介護の分野で携わってきま



子どもたちも元気にワッショイ

あいさつしました。千駄ヶ谷東町会の篠崎会長から「昨日と今日大変お世話になりました。代々木病院は10月13日に健康まつりがありますので、皆さんで参加しましょう」と呼びかけてくださいました。宣伝していただいたことに感謝です。

待合室

池上駅から世間話をしたりと話しに花を咲かせています。働いている時には味わうことができなかった、ゆったりとした楽しい時間です。散歩のあとは友人と楽しいランチとお茶の時間です。

ゆったりとした 時間を満喫

退職後の楽しいひとときです。 幹事 吉田ケエ子

活動交流集会在横浜 全国の活動に学ぶ

9月9日から10日の両日パシフィコ横浜で第14回共同組織活動交流集会在開かれ全国から240名が集まり日常活動の交流が行われました。

代々木健康友の会からは延べ22名が参加しました。オープニングは、横

浜中華街獅子舞が登場しました。また地震で被害を受けた北海道の仲間40名が登場すると会場からは大きな拍手が起きました。

記念講演は、セントルイス・ワシントン大学院の活動の基調報告のした。(秋山すすき)



分科会「安心して住み続けられるまちづくり」の様子

後、リレートークでは、3000万人署名、名、なんでも相談、居場所づくり、退院後の組合員訪問が報告されました。

「9条改憲に反対する3000万署名」をやりきり強く大きな友の会へご協力を

10月1日～12月28日 友の会仲間増やし「月間」

安倍首相は、憲法改悪発言を繰り返し、自衛隊を憲法9条に書き込む自民党の改憲案を、次の国会に提出すると述べています。友の会は「9条改憲に反対する3000万署名」をやりきるために全力をあげます。これまで地域の健康づくりに取り組み、地域のみなさんとの信頼関係が深まっています。さらに、共同を大事にして、友の会活動を前進させます。

10月1日～2月28日

「健診月間」で 健康づくり

「早期発見、早期治療」一曰の体の点検が大事です。健診を友の会会員の特典料金で実施します。未加入の方は会員になれば特典を受けられます。この機会に健康チェックをしませんか。

料金表 (税込み)

検査項目	友の会 料金	一般料金
乳がん検診 (マンモグラフィー か乳房エコー検査)	3,000円	5,250円
乳がん検診と子宮ガン検診 (子宮頸部の細胞診) セット)	7,000円	9,180円
前立腺がん検診 (PSA検査)	1,200円	3,200円
大腸がん検診 (便潜血2回方)	500円	2,160円
外来人間ドック	26,250円	37,800円

友の会の ページ

「お元気ですか」改題No.367
編集 代々木健康友の会
☎03(5411)9589
FAX 03(3404)3421

会費納入のご案内
会費納入は、郵便振替が便利です。
会費は年間1,000円です。
口座番号 00190-7-71019
加入者名 代々木健康友の会
9月1日現在会員数約4,197人

代々木健康友の会 第52回定期総会方針案

9条改憲許さず、いのちとくらしを守るために全力をあげ、地域みなさんとの共同で、助けあい、支えあいの活動を強め、大きな友の会に前進させましょう

活動のまとめと方針

私たちをめぐる情勢

首相が国権の最高機関である国会で嘘をつき、それを守るために官僚組織が嘘を重ね、嘘にあわせて公文書を改ざんする、民主主義国家として許されない事実が明るくなりました。安倍政権は、疑惑究明を覆い隠し、「働かせ方改革」「カシノ」法などの強行採決を繰り返してきました。こうした暴挙は許せません。

安倍首相は、自衛隊を憲法9条に書き込む自民党の改憲案を、次の国会に提出することを明らかにしました。

通常国会での改憲発議をめざしましたが、自民党案さえ正式決定できず、実現できませんでした。これは、安倍9条改憲NO！全国市民アクション



憲法集会に友の会も大集結

(以下「市民アクション」がすすめている「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」が3000万人を目標に取り組まれ、1500万人を超える大運動に発展し、発議を阻んできたからです。

いま、平和への激動ともいえる変化が起き、朝鮮半島の非核化、平和体制づくりに向けた話し合いがすすめられています。このときに、日本が憲法9条を変え、アジアの国々の警戒感を呼び起こすことは平和の流れに逆行する行為です。いま日本がやるべきは、9条をいかにし、「平和のプロセス」を前にすすめる外交努力に全力をあげることです。9条改憲NO！の圧倒的世論をつくるために引き続き3000万人署名に取り組みます。

昨年7月、国連で人類史上初めて核兵器を違法とする画期的な核兵器禁止条約が採択されました。一日も早く核兵器禁止条約を発効させるために、日本政府が核兵器禁止条約に署名・批准し、参加することをつよく求めます。



千駄ヶ谷駅での3000万署名 鳩森神社益踊りで健康チェック



社教館まつりに模擬店を出店

沖縄県名護市辺野古に新基地をつくらせないたたかい続けてきた故翁長雄志沖縄県知事の遺志を受け継ぎ、沖縄知事選がたたかわれました。私たちは、新基地建設断念まで沖縄と連帯してたたかいます。

福島原発事故から7年が経過した今でも、約5万人が故郷を追われ、避難生活を続けています。震災・原発関連死は2千人を超えています。引き続き原発ゼロの日本をめざします。

小池知事の「築地は守る」「都民の食の安全・安心を守る」との公約に反した豊洲新市場への移転強行は許されません。在日米軍と防衛省が欠陥機オスプレイ5機を10月1日から米軍横田基地に配備すると発表しました。都民の命とくらしを著しく脅かすことは明白であり、断じて容認できるものではありません。

いま高齢者は、年金・医療・介護などの社会保障の連続改悪などにより、暮らしはひっ迫しています。

2018年度の国保料は平均一人年6141円もの値上げで、負担の限界を超えています。第7期の介護保険料の平均基準額は月5769円となり、介護保険開始時の倍額になっていま

す。要支援者の介護外し、介護保険からの「卒業」という変質、さらには8月から現役並世帯の利用料を3割に引き上げ、10月からはケアプランの「適正化」の名の下で、生活援助（訪問介護）の利用回数規制の改悪が実施されました。

2018年診療報酬の改定の狙いは、病床の再編と削減、入院医療から在宅への誘導強化、在宅での看取りの促進など、様々な医療費抑制の施策が実行に移されることとなります。

さらに、今後の狙いとして、消費税の10%増税、75歳以上の窓口負担の見直し、かかりつけ医以外の外来受診時に定額負担徴収の導入、薬剤費の自己負担引き上げ、介護では、ケアプランの有料化、施設多床室での室料徴収の拡大、軽度者の生活援助などのサービスの総合事業への移行などです。

これでは「患者にならない病人」「利用者にならない要介護者」など医療・介護からの難民を多数生み出す重大な事態となります。「社会保障・社会福祉は国の責任で」「9条を守り、25条をいかにす」共同を広げ、野党と市民の共同とも連携し、国や自治体に対する要求運動を強めていきます。

2019年の統一地方選挙と参院選挙は、住民のいのちとくらしを守る政治へ変える絶好のチャンスです。国民が、住民が主人公の新しい政治をつくるために力をあわせましょう。

一年間の活動のまとめ

私たちは、憲法守れ、安倍9条改憲NO！3000万人署名の取り組みを活動の中心に据えて、病院、労働組合の三者共闘（以下「三者共闘」）で取り組んできました。

終日行動を6回実施、早朝から病院前、千駄ヶ谷駅頭、待合室行動、地域



笑顔いっぱいのがんき食堂



待合室いっぱいの健康講座



待合室でころばん体操

で宣伝署名行動や返信用封筒を添えた署名付きのチラシを5千枚配布しました。また、友の会独自に病院周辺の神宮前、千駄ヶ谷、代々木地域の会員訪問を11回取り組みました。ほぼ全会員を訪問し訴えました。

また、全国市民アクション11・3国会包囲大行動をはじめとする集会や、憲法学習会、国会要請行動、憲法集会に参加しました。「原発ゼロの未来へ参加しました。」「原発ゼロの未来へ参加しました。」などにも積極的に参加しました。

今年は、35℃を超える猛暑日が続き熱中症による緊急搬送が相次ぎました。豪雨、台風、地震などの災害による甚大な被害も多発しました。日頃からの注意、備えとともに、国、自治体による対策強化が求められます。

渋谷区に熱中症対策の強化を申し入れ、病院は広報カーの運行を実施し、友の会は病院と共同で地域の高齢者を訪問し注意喚起をおこないました。また、災害支援募金活動を千駄ヶ谷駅などで訴えました。

地域から代々木病院への送迎、居場所づくりの「げんき食堂」は、2016年2月から開始し、今年の7月末まで送迎は244回、延べ利用者は639名、げんき食堂は43回、1023名が利用しました。

送迎の利用者は登録者が43名とな

り、神宮前地域から千駄ヶ谷、代々木地域に広がっています。会員さんの通院の足として、天候に左右されず確実に通院できるよう実施し、いつも「ありがとう」の感謝の言葉が寄せられています。

一人暮らしの高齢者、老々世帯が増えている中で、送迎が困難になったときは、早くから仲間の介護事業所・ふれあいサポートにつなげたり、訪問診療に切り替えるなど、連携を強め、会員さんに寄り添う活動をしています。

ある送迎会員さんの生活支援では、友の会や地域包括支援センター、病院、ふれあいサポートが「総がかり」で、退院後に医療や介護が在宅で受けられるように自宅の片づけなども行いました。

居場所づくりとしての「げんき食堂」の取り組みは、地域で話題となり、月刊誌「食べもの通信」にも掲載されました。食事に入る前の小話と替え歌、嚥下体操を取り入れ、楽しく参加できるよう工夫しています。

地域との共同も広がり、町会や商店会のつながりも深まっています。鳩森神社の餅つき大会、千駄ヶ谷社教館まつり、鳩森神社益踊り、鳩森神社例大祭、町連運動会など地域の一員として参加、「なくてはならない病院、友の会」と評価が高まっています。〽

「楽しく健康づくり」をモットーに多彩な活動に取り組みました。昨年6月から休止していたころばん体操を10月から再開、代々木病院本館2階で実施、健康運動指導士のもと、ストレッチや脳トレなども毎回好評です。

サークル活動は、ヨーガ、書道サロンの健康麻雀、歩きカメラ、俳句の会、布遊び、男の料理教室が定例で開催しています。特に健康麻雀は毎回20人ほどが参加して好評です。歩こう会は猿島など3回実施しました。

青空健康チェックは鳩森神社前や第一勧業信用組合前で実施し、ふれあいコンサートは初めて町会有志の三睦会が踊りを披露、日帰りバスハイイクは七沢温泉にに行ってきました。

「健康講座」は「住み慣れた地域で最期まで暮らし続けるために」と題して実施、待合室いっぱい参加者で成功しました。健康チャレンジについては、具体化できませんでした。

強く大きな友の会をめざす活動では、秋に拡大強化月間に取り組みましたが、目標50人に対し29人の拡大でした。いつでも元気誌は目標の10部を超え12部の拡大でした。病院・友の会合同で推進会議を開きすめましたが、全体としても200名の目標に対し103名にとどまりました。

班会は三つの班が実施し、都宮神宮



踊りが素敵だったふれあいコンサート

前2丁目アパートでは外来師長が参加し「ものわすれ」についてのお話が好評でした。

9条の会は、今後「三者共闘」で協議して進めます。

医療をよくする会(院所利用委員会)、定期協議会は、病院の医療と経営、病院の施設の改善などが話し合われました。渋谷社保協、渋谷の高齢期運動など諸団体との連携も強めています。

友の会共同墓地の合同慰霊祭は今年で16回目を迎えました。会員は313名、納骨者は今年で125名となりました。

平和と社会保障を守る活動

今期は憲法を守る活動を中心に取り組み、「安倍改憲NO! 3000万人署名」を12月から開始、6・9行動にも毎月参加してきました。

歴史探訪では50年前に鉛中毒が発生した牛込柳町から旧帝国陸軍戸山学校のあった箱根山まで歩き、早稲田周辺で大規模な空襲があったことを実感させられました。

戦争を語り継ぐ会ではご家族が広島で被爆された戦後生まれの方にお話を聞いていただきました。被爆二世としての語り部の覚悟が強く感じられた会となりました。



和やかに班会開催

広島で開かれた原水禁世界大会には代表を送り、13名の渋谷代表团とともに学習・交流を行いました。

社会保障セミナーは「ふれあいサポート渋谷」の所長にお話していただき、外来待合室がいっぱいになり、介護保険制度のおさらい、実際

の事例も紹介していただきました。

保健・文化・レクリエーション活動

明るく健康づくりをテーマに取り組み、歩こう会では「国際基督教大学の学食と野川公園めぐり」に17名が参加しました。自然のなかをハイキングし、安くて美味しい学食を楽しみ交流を深めました。「猿島」に7名参加し、波の音と鶯の鳴く木々に囲まれた苔むした要塞を見学、平和であることの大切さを再認識しました。

青空健康チェックは雨や猛暑のため8回と少ない回数でしたが50名以上の方に利用していただきました。

ふれあいコンサートには80名が参加しました。初めて町会の方々の踊り三睦会が参加し、バラエティに溢れる内容に、「楽しかった」と言って帰る皆さんの笑顔が素敵でした。

日帰りバスハイイクに41名が参加し、首都圏最大級のダム・宮ヶ瀬ダムを間近に観てスケールの大きさに驚き、小林多喜二ゆかりの宿、福元館で食事と温泉を楽しみました。

学習活動と宣伝活動

「くらしと健康」で9条守れのキャンペーンを繰り返しておこない、写真を増やし紙面が読みやすく、親しみやすくなり、職員の投稿が増えました。待合室の「目で見える友の会活動」パネルが好評で、地域だよりは毎月発行し、地域に寄り添った活動を発信しました。

組織を強く大きくする活動

昨年10月から取り組んだ組織拡大強化月間では、会員拡大200名の目標と「いつでも元気」誌30部の拡大を掲

げ103名の会員を拡大し「いつでも元気」誌17部を拡大しました。年間400名の拡大目標に対しては、7月現在151名です。月間では、職員と地域訪問行動を行い、その中で10名を拡大、医事課を中心に退院患者さんや外来の患者さんへ手紙を送り13名の会員を拡大しました。

商店街振興組合や町会主催の行事に職員と一緒に参加し、交流を深めました。

班会は三班で開きましたが、病院と共同して開いていくことが重要です。

来年度の活動方針

朝鮮半島をめぐる平和への動き、核兵器廃絶に向けた積極的な動きがある中で、安倍内閣による戦争のできる国づくりと社会保障削減への執着は、異様かつ危険極まりない状況です。9条改憲発議を当面阻止したことに確信を持ちつつ、平和と社会保障の運動を一層前にすすめる、特に、9条改憲阻止のために3000万人署名の友の会目標をやりきるために力をつくします。

安倍政権が閣議決定した「骨太方針2018」では、社会保障のさらなる負担増・給付減を打ち出し、2019年の消費税率10%への引き上げを明言しました。諸団体と共同して反対の運動をすすめます。

「オール沖縄」と連帯し辺野古新基地建設反対のたたかいを強め、横田基地へのオスプレイ配備反対、原発再稼働反対の運動に取り組みます。

全日本民医連は、「無差別・平等の地域包括ケア」を切り開くと打ち出し、「地域の福祉力」を高めるまちづくりを実践しようと呼びかけました。

今後、友の会組織を対象とした活動から、地域に開かれた取り組みへの発展を視野に入れて活動します。

特に、高齢化がすすみ、一人暮らしの高齢者が増えている中で、安心して医療と介護にかかれるための活動が重要です。行政にたいする要請、病院、諸団体との連携を強めます。

地域からの送迎活動やげんき食堂は継続できるよう安定した財源を確保し、班会開催を軸に、助けあい、支えあいの活動を強め、健康講座は随時開催できるように努力します。

独自に地域活動をつよめ、町会、商店会などとの共同を一步すすめる、イベント型ではなく、日常的なつながりを深め信頼関係を築きます。このことが友の会の会員拡大につながると確信します。拡大強化月間は、会員さんからの紹介運動をつよめ、病院との連携で目標をやりきるよう力を尽くします。

サークル活動は、さらに自主運営をすすめる、「三者共闘」は、一つの事案だけでなく、継続した協議会に発展させます。健康チャレンジについては、病院と協議し具体化します。

平和と社会保障を守る活動

平和を守る活動では引き続き「安倍改憲NO! 3000万人署名」、そして6・9行動などを通じて「ヒバクシヤ国際署名」に取り組みます。原水禁世界大会にも代表を送り、日本政府が「核兵器禁止条約」を批准するよう活動します。

戦争を語り継ぐ会、病院の若い職員に参加を呼び掛け成功させます。歴史探訪は戦争の傷跡だけに限定せず、幅広く日本の歴史を学び、味わえる取り組みとしていきます。

社会保障を守る活動では社会保障セミナーを開催します。

保健・文化・レクリエーション活動

会員同士のつながりや地域のむすびつきをつよめ、楽しくより健康的に潤いを与えられる取り組みにします。歩こう会、ふれあいコンサート、青空健康チェック、日帰りバスハイイクをさらに充実させ、継続して取り組み、誰もが参加できるよう工夫します。

学習活動と宣伝活動

ひきつづき平和と暮らしを守るキャンペーンを行います。介護の現場、事例などを紹介し、日々のくらし応援の情報を提供します。

会員や職員の投稿が増えるように工夫し、1階待合室の「目で見える友の会活動」パネルを随時更新します。

組織を強く大きくする活動

年間400名の友の会会員と「いつでも元気」誌50部の拡大をめざし職員と共同して取り組みます。病院と協力して入院患者への加入を促進します。

班会を基礎にして会員相互の交流や居場所づくりを進め、空白地域の班づくり、休眠班の再開を病院と協力して取り組みます。そのためには班での世話人の確保が必要です。友の会の担い手・世話人づくりを進めます。

熱中症での会員訪問活動など、困ったことや要望を聞く活動を進めます。病院、友の会の発展にとって、町会や商店街との連携が大事です。日常的なつながりをつよめ、深めます。

代々木病院への送迎地域を 代々木、大京町、内藤町に広げて います。ぜひご利用ください



2016年から始めた
神宮前・千駄ヶ谷地域か
ら代々木病院への送迎
は、今年の7月まで24
4回おこない、延べ63
9人が利用しました。現
在の登録者は43人とな
り、通院の困難な患者さ
らの足として、雨の日
も、風の日も運行してい
ます。また、受診日を忘
れる方も多くなり、前日
に確認の連絡をして、確
実に通院できるように会
員さんに寄り添った活動
が喜ばれています。

友の会の助け合い、支
えあいの活動として始ま
った送迎活動ですが、あ
る送迎会員さんがご夫婦
で入院されました。退院
後にヘルパーさんなどの
介護や訪問診療などの医
療がきちんと受けられる
よう友の会は支援に入り
ました。「総がかり」で
片づけなどしたことが地
域のみさんから評価さ
れています。

送迎活動の地域を、渋谷区代々木、新宿区大京町、内藤町に広げたいと思います。ぜひ、お気軽に友の会にご相談ください。

友の会地域ケア委員会
の方でも大丈夫です。
認知症予防にも効果が
あるようです。参加費
200円で毎月第4水
曜日2時15分から4時
まで東館の地下食堂で
行っています。見学も
OKです。

なお年に1度、麻雀
大会も開催しています。
今年も12月に予定してい
ます。

幹事 石井正紀

健康麻雀 毎回盛況です

「飲まない、賭けない、
吸わない」、病院に通院
している方もいるため、
最近「食べない」を追
加しながら毎月1回行っ
ています。雨風が強くて
も、35度を超える猛暑で
も、毎回5卓から6卓が
埋まる盛況ぶりが続いて
います。4人で事務局長
手作りの雀卓を囲むと自
然と会話がはずみます。
生まれて初めてパイをさ
わる人や、病院の先生が
ふらりと参加したり、入
院中の患者さんが点滴を



の足として、雨の日
も、風の日も運行してい
ます。また、受診日を忘
れる方も多くなり、前日
に確認の連絡をして、確
実に通院できるように会
員さんに寄り添った活動
が喜ばれています。

友の会の助け合い、支
えあいの活動として始ま
った送迎活動ですが、あ
る送迎会員さんがご夫婦
で入院されました。退院
後にヘルパーさんなどの
介護や訪問診療などの医
療がきちんと受けられる
よう友の会は支援に入り
ました。「総がかり」で
片づけなどしたことが地
域のみさんから評価さ
れています。

送迎活動の地域を、渋谷区代々木、新宿区大京町、内藤町に広げたいと思います。ぜひ、お気軽に友の会にご相談ください。

友の会地域ケア委員会
の方でも大丈夫です。
認知症予防にも効果が
あるようです。参加費
200円で毎月第4水
曜日2時15分から4時
まで東館の地下食堂で
行っています。見学も
OKです。

なお年に1度、麻雀
大会も開催しています。
今年も12月に予定してい
ます。

幹事 石井正紀

お知らせ

こころばん体操

・29日の毎週月曜日
▽時間は午前10時～11時
30分
▽場所はふれあい会館
▽会費月2100円
▽10月3日・10日・17日
・24日・31日の毎週水曜
日
▽時間 午後2時から午
後3時30分
▽会場 代々木病院本館
2階待合室です
▽参加費100円(毎回)
▽10月1日・15日・22日

ヨーガ教室

・29日の毎週月曜日
▽時間は午前10時～11時
30分
▽場所はふれあい会館
▽会費月2100円
▽10月3日・10日・17日
・24日・31日の毎週水曜
日
▽時間 午後2時から午
後3時30分
▽会場 代々木病院本館
2階待合室です
▽参加費100円(毎回)
▽10月1日・15日・22日

俳句の会

・29日の毎週月曜日
▽時間は午前10時～11時
30分
▽場所はふれあい会館
▽会費月2100円
▽10月3日・10日・17日
・24日・31日の毎週水曜
日
▽時間 午後2時から午
後3時30分
▽会場 代々木病院本館
2階待合室です
▽参加費100円(毎回)
▽10月1日・15日・22日

布遊び (手づくり小物)

・29日の毎週月曜日
▽時間は午前10時～11時
30分
▽場所はふれあい会館
▽会費月2100円
▽10月3日・10日・17日
・24日・31日の毎週水曜
日
▽時間 午後2時から午
後3時30分
▽会場 代々木病院本館
2階待合室です
▽参加費100円(毎回)
▽10月1日・15日・22日

男の料理教室

・29日の毎週月曜日
▽時間は午前10時～11時
30分
▽場所はふれあい会館
▽会費月2100円
▽10月3日・10日・17日
・24日・31日の毎週水曜
日
▽時間 午後2時から午
後3時30分
▽会場 代々木病院本館
2階待合室です
▽参加費100円(毎回)
▽10月1日・15日・22日

歩きカメラ

・29日の毎週月曜日
▽時間は午前10時～11時
30分
▽場所はふれあい会館
▽会費月2100円
▽10月3日・10日・17日
・24日・31日の毎週水曜
日
▽時間 午後2時から午
後3時30分
▽会場 代々木病院本館
2階待合室です
▽参加費100円(毎回)
▽10月1日・15日・22日

紙面なんでも 法律相談

③4 「ペットのトラブル」

Q 私は、犬(雑種中型犬のA太郎)を飼っ
ていて、A太郎を自宅の車庫の中に設置した
犬小屋に紐で繋いでいます。先日、近所の小
学生(B君)が車庫の中に入って犬小屋に近
付いて、A太郎に触ったところ、B君は鼻を
噛まれて大怪我をしまいました。私は飼
主として責任を負うのでしょうか?

裁判例の中には、①散
歩中に飼い犬が通行人に
吠えたため、通行人が転
倒して大怪我をして約5
00万円の賠償が命じら
れたケース、②土佐犬が
犬小屋を壊して逃走して
幼児に噛み付いた事故に
ついて、飼い主に刑事罰
(重過失傷害罪)が命じ
られたケース、などがあ
ります。

このように、ペットの
飼い主は、厳しい注意義
務を負っていますので、
飼育方法や散歩方法には
十分注意を払って下さ
い。

A 動物(ペット)の飼
い主は、ペットが他人に
加えた損害を賠償する義
務を負いますが、飼い主
が「相当な注意」を尽く
していた場合には、責任
を免れます(民法718
条1項)。どのような場
合に「相当な注意」を尽
くしたかと言えるかにつ
いて、裁判例は、飼い主
側に厳しい判断をする傾
向にあります。たとえ
ば、飼い犬を紐で繋いで
いて、「犬に触らないで
ます。」

代々木総合法律事務所
弁護士 鳥飼康二
お気軽に相談してくださ
い。電話03-3379-
5211

代々木総合法律事務所
弁護士 鳥飼康二
お気軽に相談してくださ
い。電話03-3379-
5211

食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋、様々な秋を楽しもう!!



港区 高橋花奈



■最も多い乳がんを知り
吃驚

調布市 鶴沢希伊子
(9月号2面の記事で)
日本女性のかかる癌で最
も多いのが乳がんを知
り、吃驚(びっくり)しま
した。さくらももこさん
が若くして乳がんで亡く
なり、今、多くの方に惜
しまれています。早期発
見で完治する可能性が高
く生存率の高い乳がん。
マンモグラフィ検査を

受け、後悔のないように
しましょう。マンモグラ
フィー検査のとなりの救
命救急措置・心肺蘇生術
の絵による説明とても重
要なので、切り取り、拡
大してカレンダーの所に
貼り付け一部は非常袋に
入れることにしました。
※今月のくら健パズルは
友の会総会議案掲載のた
め、お休み致します。



薬剤師募集!!

私たちの合言葉は「命は平等」
平和と人権を守る、民医連の薬局です

連絡先 (株)外苑企画商事 電話04(7157)0141